

目次

【1】 --- 教員コラム第 13 弾 第 5 回「代本板と図書館」

リハビリテーション医学 / 三上靖夫

【2】 --- 学生会さんに図書 34 冊いただきました

【3】 --- [11/20(水)開催] 英語発音講座

今さら聞けない英語発音の基礎～国際学会でのスピーチ力向上のために

【4】 --- [同日開催] ProQuest Health & Medical Collection 講習会

【5】 --- 令和元年度第 2 回企画展示「海を渡った医の世界」展を開催しています

【6】 --- 平成 30 年度博士学位論文をアップしました

【7】 --- 携帯充電バッテリーを放置しないでください

[Book Review] ・ ・ ・ 編集後記にかえて

【1】 --- 教員コラム第 13 弾 第 5 回「代本板と図書館」

リハビリテーション医学 / 三上靖夫

このコラムの執筆のご依頼を受け、図書館について記憶を辿るうち、小学校の図書室で本を借りた様子が脳裏に浮かんだ。舞台は昭和 40 年代半ばの土曜日、教室 1 つ分の広さの図書室である。週末になると図書室は借りる本を探す児童でいっぱいになった。歴史や地理に関する本が好きだった私は、ターゲットのコーナーで読みたい本を抜き、借りる本の代わりに代本板を書架に入れて帰った。本の見返しに貼られた紙ポケットに納められたカードに借用日と返却日、自分のクラスと名前を書いて提出した。使っていた代本板の色や形状は鮮やかに覚えている。図工の授業で木を台形に切り、水色のペンキ？を塗って背表紙の部分に学年クラス、名前を書いた紙を貼って作ったのだ。

代本板は、今や「昔あった懐かしいもの」の一つだそうだ。小学校卒業以来、代本板を使った記憶はないし、我が家の子ども達は、代本板という名称すら知らなかった。彼らは、図

書の裏表紙に貼られたバーコードを読み取ってもらい借りていたとのことである。インターネット上での不特定の人を対象にした「代本板を知っていますか？」との調査では、「使っていた」が40%、「知っているが使ったことがない」が9%で、「見るのも聞くのも初めて」が51%と過半数を占めたようだ。

代本板は、本の返却時に借りた場所がすぐに判る便利なツールと、子ども心に思っていた。借りた本を自分で元の場所へ返却するという教育的な意識の向上にも役立っていたかもしれないし、司書が居ない図書室では代本板が図書の管理に大きく貢献していたと思う。一方で、バーコードなどで本をラベリングすると、いつ購入した本か、どのくらい借りられているか、誰が借りてきたかなどの情報を一括管理できる。代本板では1冊しか借りられないが、一度に数冊借りることもできる。一方で、代本板とカードのシステムは誰がどんな本を借りているかが他人に判るので、個人情報保護の観点でも使われない方向になったようだ。

IT化が進み、時代の流れとともに代本板の活用は限られたものになってきた。それどころか図書館そのものも、あり方が大きく変わりつつある。インターネットを使った文献検索や電子ジャーナルにより、図書館へ行かなくても多くの情報が得られる。しかし、多くの蔵書や電子化されていない雑誌は図書館へ行かないと見ることができない。館内の凜とした雰囲気の中で書架に並んだ本を見るうちに、ふと目に留まった本を手にして引き込まれた時の醍醐味は、ITの世界では味わえない。また、電子化された情報を整理して、アクセスを確保していただいているのが図書館であり、電子化が進んでも図書館が果たす役割は大きいと考える。本学の図書館では、文献検索の方法、効果的なプレゼンテーションの作成方法、論文の書き方など、様々なセミナーが開催されている。代本板は忘れられても、図書館は今後も研究と教育の重要な中心機関として機能し続けていくべきと考えている。

※過去の教員コラムは、[こちら](#)です。

【2】 --- 学生会さんに図書 34 冊いただきました

京都府立医科大学学生会さんより、34冊の新しい図書を寄贈いただきました。寄贈図書一覧は[こちら](#)から。

例えば、

- ・ 医師国家試験対策本の「イヤernote」
- ・ 「CBT・医師国家試験のためのレビューブック」シリーズ
- ・ 「病気がみえる」最新シリーズ
- ・ 基礎医学に役立つ「プロメテウス解剖学コアアトラス第3版」など、

図書館 1 階カウンター横の寄贈図書コーナーにお披露目中です。とは言えずでに大変な人気で、貸出されている図書も多数あります。資料が貸出中か否かは、来館前に [OPAC](#) にて確認可能です。

また、[マイライブラリ](#)で予約しておく、返却時にお知らせし、カウンターで置きします。

マイライブラリの申込は、[こちら](#)から。

【3】 --- [11/20(水)開催] 英語発音講座

今さら聞けない英語発音の基礎～国際学会でのスピーチ力向上のために

.....

- 日時：2019/11/20(水)18:00-19:00<申込不要>
- 場所：附属図書館 2 階 AV ルーム
- 講師：小林隼氏(ProQuest 日本支社トレーニング&コンサルティングパートナー)
- 対象：本学教職員、大学院生、学部学生ほか
- チラシ：[こちら](#)

国際学会などでのスピーチに活かせる英語発音の基礎を学べる講座です。日本人が間違いやすいポイント等を講義&実践で学びます。講師はイギリスで教育修士号を取得された ProQuest 日本支社の小林氏です。

【4】 --- [同日開催]

ProQuest Health & Medical Collection 講習会

.....

- 日時：2019/11/20(水)16:00-17:00<要申込>
- 場所：附属図書館 1 階情報検索室
- 講師：小林隼氏(ProQuest 日本支社トレーニング&コンサルティングパートナー)
- 対象：本学教職員、大学院生、学部学生ほか
- 申込方法：[メール](#)または内線(9400)で、所属と名前をご連絡ください。
※件名に「ProQuest 参加申込」とご記入ください。
- チラシ：[こちら](#)

4,000 タイトル以上の雑誌が収録されている ProQuest データベース。ここには電子ブッ

クや Medline も搭載されています。PubMed と使い分けて効率よく文献を探しましょう。
※端末を使用します。準備の都合上、事前申込をお願いいたします。

【5】 --- 令和元年度第 2 回企画展示

＜海を渡った医の世界＞展を開催しています

.....

■期間：2019/10/18(金)～11/9(土)

■場所：附属図書館 1 階 特設展示コーナー

■チラシ：[こちら](#)

■展示資料一覧：[こちら](#)

中東、ヨーロッパ、アフリカ、インド・・・各国の環境ならではの実体験を記した本を展示しています。また海外へ渡航・滞在する方へ、世界の公衆衛生に関する図書も揃えています。すべて貸出できます。是非ご覧ください。

【6】 --- 平成 30 年度博士学位論文をアップしました

.....

京都府立医科大学リポジトリ [橘井\(きつせい\)](#) に、平成 30 年度に本学で授与された博士学位論文の要約・審査要旨を追加しました。主論文の全文は「リンク」から閲覧できます。

※オープンアクセス又は本学契約ジャーナルに掲載されている場合はフリーで閲覧可能です。

【7】 --- 携帯充電バッテリーを放置しないでください

.....

10/9(水)、第 3 閲覧室に放置されていたバッグから出火するボヤがありました。原因は、携帯充電バッテリーです。携帯充電バッテリーは、接続していなくても発火の危険性がありますので取り扱いに注意し、絶対に放置しないようにしてください。

[Book Review]

.....

野呂邦暢著『夕暮の緑の光』みすず書房（2010年）

42歳で早世した芥川賞作家による随筆集。

「モクセイ地図」では、脳裡にある金木屋の所在を示す地図をひろげる。秋になれば漂ってくる香りで自然にそれと知り、角を折れるとき、前もって流れてくる匂いを秘かに期待しながら街を歩く一。

故郷の自然描写や古本屋での交流など、どれも読み心地よく、ゆったりと静かな気持ちで読みたい1冊です。（A.I）（京都府立図書館所蔵 K-Libnet で貸出が可能です。）

KPUM Library Booklog : <http://booklog.jp/users/kpumlib>

この本のページ : <https://booklog.jp/item/1/4622080818>

※「K-Libnet」は2018年4月から始まった京都府内公共図書館等との相互貸借サービスです。詳しくは[こちら](#)をどうぞ。

.....
図書館メール News 第399号 2019.10.25 発行（隔週金曜日発行）

編集・発行 : 京都府立医科大学附属図書館

library@koto.kpu-m.ac.jp

<http://www.kpu-m.ac.jp/k/library/>

.....
（図書館メール News のバックナンバーはこちらから↓）

<http://www.kpu-m.ac.jp/k/library/webservice/mailnews.html>